

平成 23 年（2011 年）の丸山の火山活動

札幌管区气象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

○2011 年の活動概況

・火口や噴気の状況（図 1～3）

5月16日、9月26日及び10月19日に実施した上空からの観測（いずれも北海道開発局の協力による）では、北西斜面の火口列に噴気は認められず、地熱域¹⁾の状況に特段の変化はありませんでした。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を検知して温度分布を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

・地震活動（図 4～5）

3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、山頂から東西にそれぞれ3～5km離れた領域でややまとまった地震活動がありました。丸山の火山活動に特段の異常は認められませんでした。

8月24日から丸山の東側数km付近で地震活動がみられ、同日22時58分頃にマグニチュード4.2の地震が発生し、上士幌町清水谷で震度1を観測しました。上士幌町、新得町、鹿追町によると、丸山の火山活動に関する異常現象等の通報はなく、国土地理院のGPS観測結果では火山活動に関するような地殻変動は認められませんでした。その後、地震活動は次第に低下しました。

丸山周辺では、過去にも時折まとまった地震活動がみられ、1989年の十勝岳の噴火時にはマグニチュード4クラスの地震が発生しましたが、丸山の火山活動に特段の異常は認められませんでした。

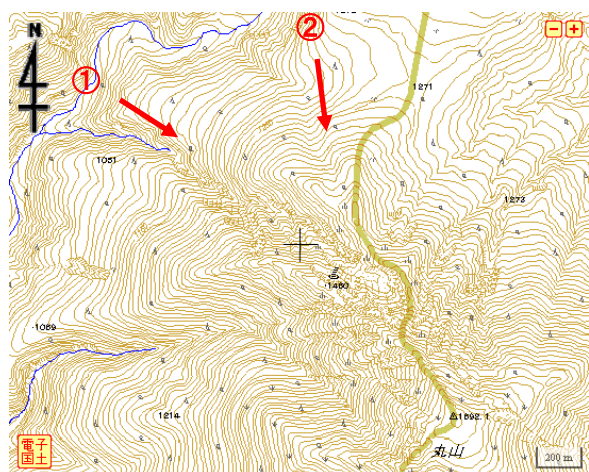


図 1 丸山 周辺図



図 2 丸山 全景（図 1-①から撮影）

この資料は札幌管区气象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>) や気象庁のホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

※ 資料は気象庁のほか、国土地理院、北海道大学及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。



図 3 丸山 山頂北西側に位置する火口列の地表面温度分布¹⁾
(図 1 の矢印②方向から撮影)

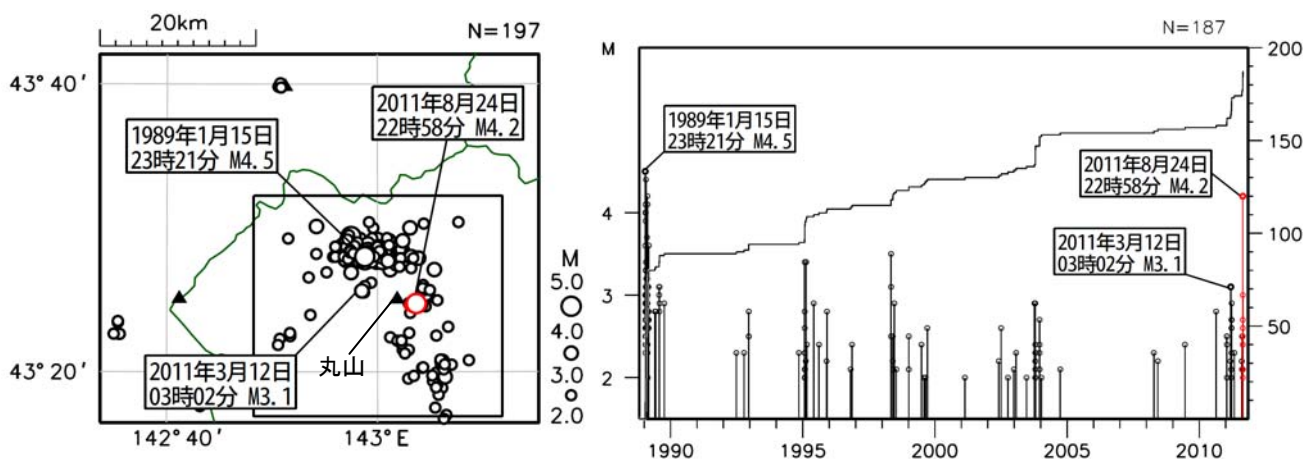


図 4 丸山 広域地震観測網による震央分布図、矩形内の地震活動経過図及び回数積算図
(1989 年 1 月 1 日～2011 年 8 月 31 日、M2.0 以上、深さ 30km 以浅、2011 年 8 月 24 日以降の地震を赤く表示)

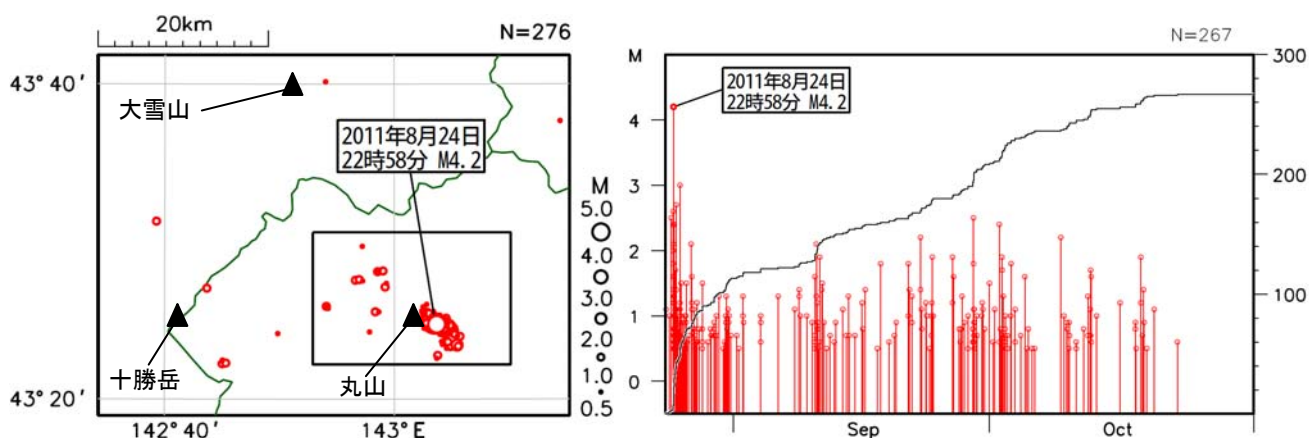


図 5 丸山 広域地震観測網による震央分布図、矩形内の地震活動経過図及び回数積算図
(2011 年 8 月 24 日～10 月 31 日、M0.5 以上、深さ 30km 以浅)